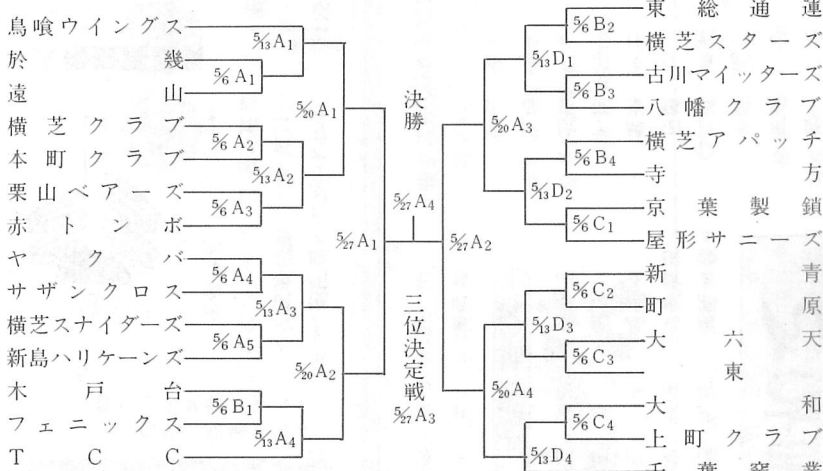


① さあ！野球シーズンの到来です ①

第8回春季町民野球大会組合せ



(A = 運動広場 B = 松尾町堂グラウンド C = ウォーターガーデン球場 D = 横芝中学校)  
1 = 8:00~ 2 = 10:00~ 3 = 12:00~ 4 = 14:00~ 5 = 16:00~

歌壇



姉遊ける病舎の窓を雨はうち  
呖くこくと経となふ義兄  
秋葉とく  
吾が願ひ届き給へとふる鈴の

金色の九輪は春日に輝きて  
成田大塔朱の彩も濃し  
掛川 友代

残雪の残りし土手にるり淡く  
ひそかに咲けるおおいぬぶぐり  
萩原 信一

追儼の夜の年越しそばは匂ひをり  
恙もなくてひととせ過ぎぬ  
吉岡 信子

横芝の碑

136

こま 狛犬の刻銘と旧街道筋



金刀比羅様(松尾町八田)の社殿正面石段の下に建っている狛犬は、その台座に「心願成就、横芝町寺方、実川弥三郎」と刻まれています。「実川弥三郎さんのお宅は確か小堤だったはずでは？」と首をかしげたのですが、実は寺方だったのだそうです。

昔は、今の振子坂の道幅は狭く、大総橋の手前から揚水機場の辺りに抜けていました。この道は、町原で佐倉方面や松尾などに通じる街道に連なる、いわゆる「よこしば街道」だったのです。

実川さんのお宅は、ちょうど今の振子坂の道筋になっていたのだ、

その屋敷は分断されて、小堤寄りの一隅に家屋を移しました。そして、小堤の字名で住所届をしていましたが、その後昔の道筋が寺方と小堤の境を作っていたこと、したがって、自分の家は当然寺方であることに気がつきました。

元来、誤ったことの嫌いな実川さんは、そのことが気になってしかなかったが、ありませんでした。幸い、この住所変更は役場でも認められて、めでたく寺方の字名で住所が確定したので、

ちょうどそのころ実川さんは、昔の道筋が町原の追分で、松尾こといら道」と一緒になって佐倉方

余韻静けく境内に消ゆ  
青藤つね子

いつしかに富士消えゆけど尚湾を  
あまねく染めて夕焼けはもゆ  
北田 ふじ

明け方にみし夢気にし電話すれば  
受話器に姉のほがらかな声  
伊藤 美穂

むつくりと土押ししつけて露のとう  
指先ほどに芽ぐみたるも

【大総小学校】  
転出▽小川智恵(豊海小) 退  
職▽勝本俊一 転入▽野老登(横芝小)▽平塚範子(千葉市千草台小)

【横芝中学校】  
転出▽井上哲(芝山中)▽高蝶敏子(蓮沼中)▽今関都子(東金養護学校)▽尾島達彦(福井県)▽山本淳一(教育庁学校保

健課) 退職▽渡賀啓子▽小川貴恵子▽宇津木信子 転入▽平野陽子(松尾中)▽菅藤孝(九十九里中)▽加瀬博幸(山武中)▽川島信子(東金中)▽小高和則(松尾中)▽羽賀彦和(八街町実住小)▽今関律子(新採用)▽佐久間章子(新採用)▽戸村恒夫(新採用)▽道林真一(新採用)



町文化財審議会委員 小沢春光さん寄稿